

ソフリエ、イクジイ 高まる存在感

「祖父のための孫育て講座」で講演 (福島県郡山市)

『子育てハッピーアドバイス』著者 明橋大二先生



福島県の地域子育て創生事業「祖父のための孫育て講座」が二月二十七、二十八日の両日、郡山市磐梯熱海温泉の、郡山ユラックス熱海で開催さ



講演する明橋先生

れた。主催は財団法人福島県老人クラブ連合会、共催は福島県。

会場には郡山市周辺から約三十名が集まり、一日めは子どもの成長と発達、赤ちゃんとの接し方や遊びなどについて、二日めは事故防止のポイントや応急手当、赤ちゃんの人形を使った沐浴、ミルクのやり方などを学んだ。参加者の一人は「沐浴なんか、なかなか難しいんだね」と赤ちゃんを抱っこするポーズを取りながら、笑って語っていた。

「孫育て講座」を受講すると、東京のNPO法人エガリテ大

手前から「ソフリエ」に認定される。「ソフリエ」は、ワインの専門知識を持つ「ソムリエ」にかけて名づけられた資格だ。

ここ最近、孫と積極的に関わる「ソフリエ」や「イクジイ

孫も、親も、まずほめて

明橋先生は、「孫育て講座」二日めの午後に行われた公開講座に登壇した。

今まさに育児に奮闘中の母親や、子育て支援の関係者も近隣から駆けつけ、この日、

「イ」がメディアで取り上げられる機会が増えている。孫育てを支援する雑誌・新聞も相次いで創刊された。

忙しい現役世代の子育てをサポートする祖父の存在感が高まってきている。

めでたくソフリエとなった祖父たちとともに、聴講した。講演のテーマは「子育て・孫育てといたっても、父母の子育てと変わりありません。大事なことは一つです。その大事なことを、みんなで共有するのが大切なことです。今日は、私が子育てでいちばん大事だと思っていることを、お話ししたいと思います」

待望の祖父母編 7月中旬発売

● 孫の育児に関わるうえで大切なポイント
● こうすれば、息子・娘夫婦との関係が円滑に
● 孫と遊ぶほう！

● 世代間ギャップ、価値観の違いを感じたら

● 祖父母だからできる、しつけとは
● 「甘えさせる」と「甘やかす」は違います

Q & A
● 母親が、孫を叱ってばかりいるので心配です

● 孫の世話を頼まれるのは、うれしい反面、疲れます

など

新刊のお知らせ

子育てハッピーアドバイス

はつまごの巻

ようこそ 初孫

孫が幸せに育つために

明橋大二・吉崎達郎 著 イラスト 太田知子



祖父母だからできること

400万部突破

「最後に、祖父母の皆さんに知っていただきたいと思うことは、子どもの自己評価(自己肯定感)を育てるためには、

「最後は、祖父母の皆さんに知っていただきたいと思うことは、子どもの自己評価(自己肯定感)を育てるためには、

「最後は、祖父母の皆さんに知っていただきたいと思うことは、子どもの自己評価(自己肯定感)を育てるためには、

※明橋先生は、被災した子どもと子育て家庭の支援や、復興支援情報の収集・発信をしている「東日本大震災子ども支援ネットワーク」のスペシャリストアドバイザーです。



核家族化が進み、朝から晩まで独りで、言葉の通じない赤ちゃんを相手にしなければならぬ「孤育て」の時代だ。明橋先生は、「イクジイ」や「ソフリエ」の存在は、今の日本で、ますます重要になっていくのではないかと語っている。